



令和8年1月27日

### 肥薩おれんじ鉄道線の鉄道事業再構築実施計画の認定について

九州運輸局長は、肥薩おれんじ鉄道線の鉄道事業再構築実施計画について、令和8年1月27日付けで認定を行いました。

九州運輸局長は、令和7年12月19日付けで肥薩おれんじ鉄道株式会社等から申請のあった鉄道事業再構築実施計画について、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第24条第2項に基づき、令和8年1月27日付けで認定を行いました。

肥薩おれんじ鉄道の鉄道施設及び鉄道車両の整備費及び維持修繕費等を熊本県・鹿児島県及び沿線7市町(八代市・水俣市・芦北町・津奈木町・阿久根市・出水市・薩摩川内市)等が負担することで、線路設備や車両設備の計画的な更新が可能となり、将来にわたり安全・安心な運行の維持を実現することとしています。

さらに、キャッシュレス決済の導入拡大やMaaSの取組拡大、駅待合環境の整備・改善、駅舎の利活用や沿線地域が一体となった肥薩おれんじ鉄道線を活用したイベントの企画等、利用者の利便確保に向けた各種施策を実施することで、肥薩おれんじ鉄道が地域にとって必要とされ、利用される鉄道を目指すとともに、同鉄道を軸とした地域公共交通ネットワークの実現を図ることとしています。

#### 【概要】(詳細については添付資料をご覧ください)

##### ○申請者

肥薩おれんじ鉄道株式会社、八代市、水俣市、芦北町、津奈木町、阿久根市、出水市、薩摩川内市、熊本県、鹿児島県

##### ○計画期間

令和8年4月1日～令和18年3月31日(10年間)

#### 【参考】

令和5年の改正地域交通法に基づく鉄道事業再構築実施計画の認定は、23件目となります。

＜お問い合わせ先＞

九州運輸局鉄道部計画課 井料、川上

電話:092-472-4051

## 肥薩おれんじ鉄道の鉄道事業再構築実施計画の概要

### 1. 対象路線

肥薩おれんじ鉄道 肥薩おれんじ鉄道線（八代～川内間：116.9 km）  
R6 輸送密度：636 人

### 2. 事業構造の内容

引き続き、肥薩おれんじ鉄道株式会社が第一種鉄道事業者として運行並びに鉄道施設及び鉄道車両（以下「鉄道施設等」という。）の保守管理を担い、熊本県、鹿児島県及び沿線7市町（八代市・水俣市・芦北町・津奈木町・阿久根市・出水市・薩摩川内市）等が、鉄道施設等の整備費及び維持修繕費等を負担する事業構造とする。

### 3. 計画期間

令和8年4月1日～令和18年3月31日（10年間）

### 4. 地方公共団体その他の者による支援の主な内容

- (1) 両県・沿線市町等による鉄道施設等の整備及び維持修繕等に要する費用の負担
- (2) 沿線地域による利用促進・增收策の推進

### 5. 利用者の利便の確保に関する主な事項

- (1) 安全・安定輸送の確保及び肥薩おれんじ鉄道線の経営安定化
  - ・老朽化設備の更新・機能向上によるインフラの安全性強化、鉄道機能の安定性及び持続可能性の向上
  - ・老朽化した駅の施設・設備の改修等による機能向上を通じた災害時の避難所及び地域の防災拠点としての機能確保による持続可能性の向上
  - ・モーダルミックスを通じ、交通事業者が連携した運賃・ダイヤの設定による運行の効率化・持続可能性の向上
- (2) 利用者の快適な移動の実現
  - ・運転士の確保による便数の維持・改善、利用しやすい運行間隔の実現
  - ・キャッシュレス決済の導入拡大、MaaSの取組拡大のサービス改善による利便性の向上
  - ・交通機能に加え、観光等の他分野機能・拠点の集約による駅の賑わい創出
  - ・自治体や交通事業者等の参画による二次交通の接続強化
- (3) 地域の経済・産業振興
  - ・沿線一体となった地域資源の磨き上げやPR
  - ・お出かけ先と連携した交通と他事業の相互利用（商業施設や観光施設の割引等をセットした企画切符の販売）
  - ・沿線地域の自然・歴史・文化・観光資源を効果的に活用し、沿線の関係者が一

体となって、スイーツ列車や地酒列車、沿線マルシェといった話題性のある仕掛けやイベントの企画、イベント入場券をセットにした切符の販売等

- ・おれんじ食堂を活用した企画列車の運行等による利用促進事業、教育機関等と連携した乗り方教室や職業体験等の実施によるスクールトレイン事業
- ・住民等が肥薩おれんじ鉄道線に親しむ仕組みづくり
- ・自治体による通学定期券の購入費補助

**事業費合計 25, 258百万円**

※（1）の一部について、社会資本整備総合交付金を活用予定。

## 6. 鉄道事業再構築事業の効果

○肥薩おれんじ鉄道が運行及び鉄道施設等の保守管理を担い、熊本県・鹿児島県及び沿線7市町（八代市・水俣市・芦北町・津奈木町・阿久根市・出水市・薩摩川内市）等が、鉄道施設等の整備費及び維持管理費を負担することにより、安全で安定的な輸送継続につながるとともに、同鉄道を軸とした地域公共交通ネットワークの実現が図られる。

○再構築事業を実施した場合における計画最終年度（令和17年度）

輸送人員 914千人  
当期純利益 27百万円

本事業を実施しない場合

輸送人員 845千人  
当期純利益 △47百万円

# 肥薩おれんじ鉄道の鉄道事業再構築事業の概要

## 鉄道事業再構築事業実施スキーム

(計画期間: 令和8年4月～令和18年3月)

### 肥薩おれんじ鉄道(株)

《第一種鉄道事業者》

運 行

維持管理

土地・鉄道施設保有

車両保有

鉄道施設・車両の  
整備費

鉄道施設・車両の  
維持修繕費

熊本県・鹿児島県  
沿線7市町

(八代市・水俣市・芦北町・津奈木町・  
阿久根市・出水市・薩摩川内市)

国

## 具体的施策と効果

### 効 果

- 年間輸送人員  
計画終了年度(R17年度見込) 914千人  
本事業を実施しない場合 845千人
- 運行収支の改善(当期純利益)  
計画終了年度(R17年度見込) 27百万円  
本事業を実施しない場合 △47百万円

### 具体的な施策

◇は社総交活用予定事業

- 安全・安定輸送の確保
  - ◇鉄道施設の改修・更新の実施  
[10年間: 71.6億円]
  - ◇鉄道施設の維持修繕の充実  
[10年間: 180.1億円]
- 利用者の快適な移動の実現
  - ◇キヤッシュレス決済の導入拡大、MaaSの取組の拡大
  - ◇観光等の他分野の機能や拠点の集約による駅の賑わい創出
  - ◇二次交通の接続強化
- 地域の経済・産業振興
  - ◇商業施設・観光施設の割引等をセットにした企画切符の販売
  - ◇沿線地域の自然・歴史・文化・観光資源を効果的に活用した話題性のあるイベントの企画等
  - ◇おれんじ食堂等を活用した企画列車の運行等

# 肥薩おれんじ鉄道株式会社の概要

● 社名 肥薩おれんじ鉄道株式会社  
代表取締役社長 中村 誠希

● 本社 熊本県八代市萩原町1丁目1番1号

● 資本金 15.6億円

● 区間 肥薩おれんじ鉄道線 (116.9km)  
熊本県側: 56.1km、鹿児島県側: 60.8km

● 株主 熊本県(39.8%)、鹿児島県(39.8%)  
日本貨物鉄道(株)(6.4%)、  
八代市(3.9%)、薩摩川内市(3.2%) ほか

## ● 沿革

平成14年10月: 九州新幹線新八代～鹿児島中央間の開業に伴い、  
第三セクター鉄道会社として肥薩おれんじ鉄道株式会社を設立  
平成16年3月: JR九州から八代～川内間を承継し、肥薩おれんじ鉄道線  
八代～川内間を開業

## ● 利用状況 (輸送密度) (単位:人/日)【年度】

区間	R1	R2	R3	R4	R5	R6
肥薩おれんじ鉄道線	665	486	586	594	635	636

## ● これまでの動きと現在の状況

令和6年6月: 県と沿線自治体7市町等による任意協議会を設置し、持続的運行  
可能な方策を協議

令和6年12月: 任意協議会の議論とりまとめ後、法定協議会(肥薩おれんじ鉄道  
未来戦略検討委員会)を設置

令和7年6月: 肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画の策定

令和8年1月: 鉄道事業再構築実施計画の認定

